



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JANUARY 31 2019 NO. 2459

職業奉仕月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週（2月8日）のお知らせ
1) 例会 (2459回)	1) 三世代クラブ合同例会 (2460回)
2) ソング スキー	2) ソング 君が代・奉仕の理想
3) 卓話 「新入会員自己紹介」 二宮 彰久 会員	3) 三世代クラブ合同社会奉仕事業報告 三世代クラブ 社会奉仕委員長 <例会場 帝国ホテル大阪 5階 八重の間>
4) 2月度定例理事会	

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは。

1月23日(水)に3回目のIM第6組会長・幹事会(六輪会)が太閤園で行われました。「下期の抱負」としまして各クラブの発表がありました。各クラブの重点課題はやはり会員増強でした。5月11日(土)に天満橋のドーンセンターで「2040年の超高齢少子社会に向けての医療・介護について」というテーマでIM第6組のロータリーデーが大阪大手前ロータリークラブのホストで開催されますので参加を宜しくお願い致します。また、ロータリーデーの後、引き続きまして入会5年未満の会員を中心にフレッシュロータリアンの親睦会がございます。フレッシュロータリアンの親睦会は、中之島ロータリークラブのホストで、食事とアルコールが出ます。午後8時くらいに終了予定ですので該当される会員は必ずご参加をお願い致します。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ① 座席表(1~3月分)を本日お配りしております
- ② 「大阪天満宮観梅のご案内」を本日お配りしております。多数のご参加をお願いいたします。
- ③ 「2018-19年度青年功績賞授与式(大阪市)」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。

- ④ 「2018-19年度 下半期会費のお願い」をさせて頂いております。お振り込み宜しくお願いたします。
- ⑤ 次々週2月7日(木)の例会は8日(金)三世代クラブ合同例会(帝国ホテル大阪)に変更になりますのでお間違いのない様にお願致します。なお、当日の幹事報告は書面にて会報と一緒に配布させて頂きます。
- ⑥ 本日例会終了後 第2回被選理事会を4F「銀嶺の間」にて開催致します。関係各位宜しくお願いたします。
- ⑦ 次週例会終了後「2月度定例理事会」を開催いたします。本日ご案内させて頂いておりますので関係各位宜しくお願いたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の卓話よろしくお願いたします 井戸 幹雄
井戸さん 卓話ご期待申しております。
高松 貞彦
井戸会員の卓話ゴルフのお話を期待していましたが、お金の話との事、楽しみにしています。
中川 政照
井戸さん卓話たのしみにしています 西井 幾雄
井戸先輩の卓話、楽しみです。 福原 哲晃
井戸会員 本日の卓話楽しみに致しております
石田 道夫
井戸先輩 本日の卓話楽しみにしています。
中村 修
卓話 宜しくお願致します。 寺杣 晃一

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	49名	1月24日の出席率	81.40%
国内ゲスト	1名	会員出席	35名(43名)	6週間前(12月20日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	19名	メイクアップを含む出席率	93.62%
外国ゲスト	0名	会員欠席	8名	メイクアップ実施会員	3名(欠席者6名)

先日は思わぬ所でお会いしおどろきました！今日の卓話、楽しみにしております。小寺 寿矢 1月度ビアフレンド会ご参加の皆様ありがとうございました。次回も多数のご参加よろしくお願ひ致します。ビアフレンド会初例会で天満宮の御神酒をいただきまして、権利をゆずってくれた森本さんありがとう。

大矢 平治 クラブ協議会欠席のお詫び。在本さんお世話かけました。大矢 平治 新年早々連続欠席おわびします。本年もよろしくお願ひします。川原 和彦 中村会長エレクト 本日は素晴らしいお年玉をありがとうございます。川原 和彦 平成31年1月24日 合計金 61,000円 累計金 1,621,000円

☆☆ 先週(1月24日)の卓話 ☆☆

「江戸時代のお金」

井戸 幹雄会員 前々回、卓話で「江戸のお金と刻」の話をさせて頂きました。雑ばくに話を進めましたので、お金も刻もあまりご理解頂けないままになり、失礼致しました。

今回は「江戸のお金」をテーマにもう少し深掘りして、私の好きな江戸時代を考えてみたいと存じます。

徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、天下をとると、江戸、京都で小判を、伏見で丁銀を大量に鑄造させ始めました。慶長金銀貨の始まりです。家康はそれ以前から、秀吉が大判を鑄造したことに続き、まず自身がおさめていた江戸で小判

や一分金を、のちの金座の責任者となる後藤庄三郎につくらせています。

家康は、戦国大名である甲斐の武田氏が領内で流通させていた甲州金といわれる金貨にならって、「両」「分」「朱」という貨幣単位を江戸時代をとおして全国で使わせました。また、江戸時代の銀貨の基準となる丁銀も、秀吉が堺の銀をあつかう商人である湯浅作兵衛らにつくらせた銀貨がモデルになったといわれています。それまで地金として流通していた銀の品位を一定にしたので、重さをはかるだけですぐに価値がわかるようになり、より使いやすくなったわけです。この金、銀に加えて補助貨幣として「銭」を流通させ、三貨制度として発展してきました。

さて、歴史は為政者により書き換えられると言います。江戸時代は260年以上も続きましたが、その後の明治維新に加え大東亜戦争の敗戦による占領軍GHQにより全てが否定され、封建主義の一言で片付けられ、今でも続いています。

お金を通じて江戸の経済を考えてみたいと考えます。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

フォアグラパルフェと干し柿のテリーヌ、
 コルニション、ライブレッドのグリル
 ミラノ風牛肉のカツレツ、トマトソース、
 リソレポテトとマッシュルーム添え
 キャラメルオレンジ風味のシブスト、
 苺とルバーブのコンポート
 コーヒー又は、紅茶
 バゲット、胡桃入りソフトロールとバター

「スキー」

時雨音羽作詞・平井康三郎作曲

一、山は白銀(しろがね)

朝日を浴びて

すべるスキーの風切る速さ

飛ぶは粉雪(こゆき)か 舞い立つ霧か

お お この身もかけるよ かける

二、真一文字(まいちもんじ)に

身をおどらせて

さつと飛び越す飛鳥(ひちよう)の翼

ぐんとせまるは、ふもとか 谷か

お お たのしや 手練(しゅれん)

の飛躍(ひやく)